



水分をふくんでいて、水が水じよう気になるときには、体せきが約千七百倍にもふくれあがるそうです。そのため、ものすごいあつ力がかかり、たねの皮がはじけてとび上がるのだそうです。大好きなポップコーンが、どうしてはじめながら出来上がるのかが分かって、おもしろいなどと思いました。

もう一つ気になつたページがありまです。それは、水入り風船がわれるしゆんかんの写真です。水が入っていない風船がわれるところは何度も見たことがあるけれど、いつしゆんでおわつてよく分からなかつたし、水が入っている風船はわれたところを今まで一度も見たことがなかつたからです。ゆつくりじつくり写真を見ました。

水入り風船は、風船がわれおわつても、ほとんどの水が風船の形のままのこり、それから水が落ちていくことが分かりました。空気だけが入った風船は、はりをさしたところからじゅんにさけていつて、丸の形をそのままのこしてわれていくことが分かりました。しゅんかん写真のおかげで、自分の目で見てもせつたいに分からることを知ることができます。

そのほかにも、しゅんかんで見えるものがたくさんしようかいされていて、ともわくわくしました。ふだん見ているのも、しゅんかんで見てみるとぜんぜんちがうものに見えた、いろいろな形へんかしてしたりして、本を読みながら何回もおどろいてしまいました。ふしぎに思っていたことや、分からなかつたことを知ることができて、とてもおもしろかったです。これからは、ふだん気にしていかない水の動きなどをかんさつしてみたいと思いました。

なかつたかもしないと思いました。

私は、国語で第二次世界大戦のことについて学習しています。原爆ドームを目にのするだけで、心がしめつけられました。戦争に巻きこまれて、たくさんの命が奪われ、その家族の悲しみが現在も続いているいます。校長先生が、一学期の終業式に、8月6日・9日・15日に起きたことについて全校生にお話をしてくださいました。その日のテレビには、戦争時の人々の様子、焼け跡、被爆した人々の今なお続く苦しみ、さまざまなことが映し出されました。昔のことだと、簡単に決して済ませてはいけないと、強く思いました。

常連客の一人、桐道さんは、「人間がくらしに必要なもんと、そうでないもんとの区別がつかないんだ。それがわからん人間は、わやになるね。沖縄の人はえらいね。そこがちゃんとしているさかい、人間のなかでも上等が多い」と話していました。私は、必要なことは思いやりであり、必要なことは知ろうとせずに嫌うことだと思います。

この小説を読み、今の人間が幸福に生きられるのは、先人のなみだや苦しみ、かつとうなどがあつたからだと思いました。先人の苦労のおかげで今の私があるということは、亡くなつた人々だけではなく、周囲の支えもあつて幸せな生活を送っているということなのです。顔を合わせていると、うなづいていたいといつて思いました。一日、一日、そして一時、一時を過ごすことができることに感謝と喜びをもつて、自分や周囲の人々の命を大切に守っていきたいと思います。

ご不明な点は左記までお問い合わせください。

「福島県司法書士会」 ☎ 024-534-7502
「福島地方法務局」 ☎ 024-534-2045

法務局相続登記 Q & A

Q. 相続登記をしないで放つておくと、どのようなデメリットがありますか？

A. 相続人の中に所在不明の方などがいる場合、すぐ登記を含めた相続の手続きをすることができず、相続分を確定することが困難となります。さらに、相続が2回以上重なると、誰が相続人となるのか、その調査だけで相当の時間が掛かり、相続登記の手続費用や手数料も高額となってしまいます。相続の手続に時間が掛かると、相続した不動産を売りたいと思ったときに、すぐに売ることができなくなるなど、思わぬ不利益を受けることがあります。

また、相続登記が放置されているため、所有者の把握が困難となり、まちづくりのための公共事業が進まないなどのいわゆる所有者不明土地問題が顕在化しており、また、相続登記の未了は、適切な管理がされていない空き家が増加している大きな要因の一つであるとの指摘もされています。